

2012年4月1日～2016年3月31日の間に 当センター西2病棟よりご退院された方へ

この度、岡山県精神科医療センター西2病棟にて入院治療を受けご退院された際の診療情報等の一部について、他の研究機関で実施される下記研究に対し提供を行います。本研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、利用目的等を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

この研究課題に対し診療情報等を利用することにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、ご自身の診療情報等を利用・提供して欲しくない場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、利用・提供して欲しくないことを申し出られても、なんら不利益を受けることはございません。

1. 対象となる方

岡山県精神科医療センター西2病棟にて入院治療を受け、
2012年4月1日より2016年3月31日までの間にご退院された方（当時、20歳以上だった方）

2. 試料情報の提供のみを行う者の機関名・所属・氏名

機関名：岡山県精神科医療センター
所属・氏名：院長・来住由樹

3. 試料・情報を提供する研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名：精神科地域包括ケア病棟利用患者の
地域滞在および再入院の要因に関する後ろ向きコホート研究
研究期間：2025年7月倫理委員会承認後～2028年3月31日まで
研究代表者（研究責任者）：国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
地域精神保健・法制度研究部 研究員 川口敬之

4. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

情報等：下記の項目について収集

- ・年齢、性別、診断名、精神疾患の重症度に関する検査データ、入院前の入院回数や日数
- ・入院中に受けた治療内容、専門職が関わった内容や頻度
- ・退院時の通所や訪問系サービスの利用状況、制度や経済的支援の利用状況

（取得方法）診療録やレセプトデータから入手

5. 試料・情報の利用目的及び利用方法

<利用目的>

精神障害をもつ方々が住み慣れた地域で安心して生活することを支えるために、精神科病院の役割はとても大切です。精神科病院が適切な治療を行い、地域のさまざまな施設や支援サービスと協力・連携することにより、たとえ精神障害の程度が重度であったとしても、再発を防止し、地域生活の継続を促すことができるといわれています。また、そのような精神科病院の取り組みは、一部の地域にとどまらず、全国的に広めていく必要があり、調査を行い普及していくことがとても重要です。したがって、情報の利用目的は、精神科地域包括ケア病棟より退院して5年経った方々を対象に、入院したときから退院したときの情報について詳しく調べることです。

<利用方法>

提供を行う際には、研究計画に従い、診療情報等の個人情報は加工処理を行った上で、対象となる方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱います。また、この研究に使用する情報は、匿名化した後にパスワード等で制御されたコンピューターに、研究の中止または研究終了後5年間保存します。統計的な分析によって得られた知見は、学会や論文で発表いたしますので、ご了解ください。

6. 利用又は提供を開始する予定日

2025年11月を予定しています。この研究にご質問等がありましたら下記の問い合わせ窓口までご連絡ください。

また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2025年10月31日までの間に下記の問い合わせ窓口までお申し出ください。対象となる方のご家族等の関係者からのお申し出も受け付けます。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

7. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名： 岡山県精神科医療センター

所属： 事務部 氏名： 森川公彦

電話番号： 086-225-3821（平日：8時30分～17時15分）

FAX： 086-234-2639

以上